

## 公 告

土地改良法（昭和 24 年法律第 195 号）第 85 条第 1 項の規定により、県営土地改良事業（油川地区経営体育成基盤整備事業）の施行を申請するため、当該土地改良事業計画の概要につき青森市長と協議するので、同条第 6 項の規定により公告し、次のとおり縦覧に供する。

この計画の概要に意見がある者は、令和 8 年 1 月 7 日までに意見書を提出することができる。

令和 7 年 1 2 月 1 9 日

申請人

氏 名 池田 優

氏 名 農事組合法人 羽白開発

代表理事 福士 博人

氏 名 今 誠

## 記

### 1 縦覧に供する書類

土地改良事業計画概要書

### 2 縦覧の期間

令和 7 年 1 2 月 1 9 日から令和 8 年 1 月 7 日まで

### 3 縦覧に供する書類及びこの公告文の掲載場所

青森県庁ウェブサイト

([https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/noson/kanri\\_01.html](https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/noson/kanri_01.html))



### 4 意見書の提出方法等

(1) 意見書は、郵送、ファクシミリ又は電子メールにより提出すること。

(2) 意見書の提出先

青森市農地林務課

ア 郵送の場合 〒038-1392 青森市浪岡大字浪岡字稲村 101 番地 1 浪岡庁舎

イ ファクシミリの場合 0172-62-9369

ウ 電子メールの場合 nochi-rimmu@city.aomori.aomori.jp

(添付ファイルによる場合は、テキスト形式によること。)

(3) 意見書には、①事業名、②地区名、③意見書の提出者の氏名及び住所（団体の場合は名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地）並びに④連絡先（電話番号及びメールアドレス又はそのいずれか）を記載すること。

(4) 提出のあった意見は、公表する場合があるため留意すること。

(5) 意見書に使用する言語は、日本語とすること。

# 土地改良事業計画概要書

経営体育成基盤整備事業

県 名 : 青 森 県  
地 区 名 : 油 川  
所 在 地 : 青 森 市  
事業主体 : 青 森 県

## 目 次

第1章	目 的	-----	1
第1節	目 的	-----	1
第2節	地 積	-----	1
第2章	地域の所在及び現況	-----	1
第1節	地域の所在及び地形	-----	1
第2節	土質及び土壌	-----	1
第3節	気 象	-----	1
第4節	水 利 状 況	-----	2
第5節	道 路 状 況	-----	2
第6節	営 農 状 況	-----	2
第7節	地域環境の概況	-----	2
第3章	基本計画	-----	2
第1節	事業計画の要旨	-----	2
第2節	営農計画及び土地利用計画	-----	2
第3節	用 水 計 画	-----	3
第4節	排 水 計 画	-----	3
第5節	道 路 計 画	-----	3
第6節	農用地造成計画	-----	3
第7節	洪水調節計画	-----	3
第8節	干拓計画	-----	3
第9節	農用地整備計画	-----	3
第10節	老朽ため池改修計画	-----	3
第4章	工事又は管理の要領	-----	4
第1節	主要工事計画	-----	4
第2節	工事の施行方法	-----	4
第3節	工事完了後の施設の管理	-----	4
第5章	換地計画の要領	-----	4
第1節	換地計画樹立の必要性	-----	4
第2節	換地計画樹立の基本方針	-----	4
第3節	土地改良法第5条第6項に規定する 国有地等の編入承認に係る地積	-----	5
第6章	費用の概算	-----	5
第7章	効 用	-----	5
第8章	他の事業との関係	-----	5
第9章	計画概要図	-----	5

第1章 目 的

第1節 目 的

本地区は、青森県青森市に位置し、二級河川新城川左岸に展開する農業地帯であり、水稻を中心とした営農が行われている。

地区内では、ほ場が未整備であり、農道も狭小で一部にしかないことにより作業効率が低く、水路も用排兼用の土水路で維持管理に多大な労力を要しているほか、農業従事者の高齢化や後継者不足といった課題にも直面している。

このため、本事業により区画整理による大区画化や農道、用排水路を整備することで生産性の高い優良農地を確保するとともに、農業の生産性の向上を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。

第2節 地 積

(単位：ha)

現況地目 市町村名	田	畑	山林 原野	その他	小計	法第5条6 項の土地	法第5条7 項の土地	合 計	備 考
青 森 市	47.3	-	-	-	47.3	6.9	0.6	54.8	
計	47.3	-	-	-	47.3	6.9	0.6	54.8	

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地域の所在及び地形

1. 所 在

本地区は、青森市北部に位置し、二級河川新城川水系新城川沿いに広がる水田地帯である。

2. 地 形

本地区は、地区西側から東側に1/306程度の勾配で傾斜を有し、標高は2.5～5.3mである。

第2節 土質及び土壌

本地区の土壌は、灰褐色土壌壤土型、強グライ土壌砂土還元型、強グライ土壌強粘土還元型の3つのタイプである。

第3節 気 象

1. 一般気象

観測所名	青森 地方気象台	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	H27年～R6年	5月～9月	10月～4月		
平 均 気 温 (℃)		20.3	5.2	11.5	
降 水 量	平 均 (mm)	558	815	1,373	
	基準年 (mm)	351	1,083	1,434	基準年 平成16年
降水日数	平 均 (日)	44	113	157	
	基準年 (日)	36	139	175	基準年 平成16年
根 雪 期 間	12月15日～3月11日			88 日間	
無 霜 期 間	5月5日～10月25日			175 日間	
最 多 風 向	SW	最大風速 ( 風向 )	19 m/s ( SW )	最多風向発生時期 3月～12月 最大風速発生年月日 令和3年 1月 7日	

2. 特殊気象

観測所名 青森地方気象台

観測期間	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
S1年～R5年	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日
最大日雨量	208mm	H19.11.12	188mm	S10.8.22	153mm	S52.8.5	146mm	R4.8.9	140mm	H11.10.28
最大連続 雨 量	342mm	S10.8.21 ～ S10.8.26	333mm	S21.11.27 ～ S21.12.31	297mm	H19.11.11 ～ H19.11.24	296mm	R4.8.9 ～ R4.8.12	293mm	S22.11.22 ～ S22.12.25
最大連続 干天日数	52日	S3.7.17 ～ S3.9.6	41日	S18.6.19 ～ S18.7.29	38日	S54.5.1 ～ S54.6.7	36日	S21.7.18 ～ S21.8.22	36日	S48.6.24 ～ S48.7.29

## 第4節 水利状況

### 1. 用水状況

本地区の用水は、二級河川新城川水系新城川を水源としている。また、地区内の水路は用排兼用の土水路で、水管理及び維持管理に多大な労力を費やしている。

### 2. 排水状況

本地区の排水は、二級河川新城川水系新城川及び既設排水路に直接排水されている。地区内の排水路のほとんどが用排兼用の土水路であり維持管理に多大な労力を費やしている。

## 第5節 道路状況

本地区の農道は、未舗装で幅員が狭いため、営農機械等の搬出入や車両のすれ違いに支障を来している。

## 第6節 営農状況

本地区は稲作中心の農業形態である。

## 第7節 地域環境の概況

本地区及び周辺において保護指定等に係る特に配慮すべき動植物は確認されていない。

# 第3章 基本計画

## 第1節 事業計画の要旨

### 1. 要 旨

ほ場の大区画化、農業用排水路、農道等の農業生産基盤整備を行うことにより、農作業の効率化、生産コストの低減、維持管理費の節減及び高収益作物の拡大を図り、これと併せて土地所有の集団化、地域の担い手農家への農地の集積・集約化を促進する。

なお、事業の実施に当たっては、工事中、貴重な動植物を発見した場合は、近くに移動または移植し、保護する。

### 2. 事業別面積

(単位：ha)

土地利用 区分 事業目的	水田	畑						計	備 考
		普通畑	果樹園	牧草地	茶園	その他	小計		
区 画 整 理	44.9	0.5	-	-	-	-	0.5	45.4	
計	44.9	0.5	-	-	-	-	0.5	45.4	

## 第2節 営農計画及び土地利用計画

### 1. 営農計画の概要

本事業の実施により、水稻に野菜を組み合わせた複合経営方式による農業経営の安定化を図る。また、担い手への農地の集積・集約化を促進し、機械の大型化により作業効率を向上させ、高効率で生産性の高い農業経営を確立する。

### 2. 土地利用区分

(単位：ha)

土地利用 区分	水田	畑					小計	道路	水路	その他	計	備 考
		普通畑	果樹園	牧草地	茶園	その他						
現 況	47.3	-	-	-	-	-	47.3	3.4	3.2	0.9	54.8	
計 画	44.9	0.5	-	-	-	-	45.4	7.3	1.5	0.6	54.8	

### 3. 作付計画

田	: 水稻、飼料用米、酒造好適米、輸出用米	A=	42.5	ha
輪 換 畑	: キャベツ、レタス、ブロッコリー	A=	1.5	ha
普 通 畑	: トマト	A=	0.5	ha

## 第3節 用水計画

### 1. 計画基準年 平成16年

### 2. かんがい方式

水 田：湛水かんがい方式                      かんがい期間 5月10日～9月10日（代掻期間 5月10日～5月20日）

### 3. 計画用水量

代掻期	純用水量 0.173m <sup>3</sup> /s	粗用水量 0.203m <sup>3</sup> /s
普通期	純用水量 0.122m <sup>3</sup> /s	粗用水量 0.144m <sup>3</sup> /s

### 4. 水源計画

新城川水系新城川（二級指定河川）を水源とする。

## 第4節 排水計画

### 1. 計画基準雨量

114.1mm/day（1/10確率雨量）

### 2. 計画排水方式

本地区の排水は、二級河川新城川水系新城川及び既設排水路へ自然排水している。

### 3. 流域面積

平地 0.5km<sup>2</sup>                      計 0.5km<sup>2</sup>

### 4. 計画排水量

0.430m<sup>3</sup>/s（1/10確率排水量）

## 第5節 道路計画

支線道路Ⅰ型は全幅員5.0m、有効幅員4.0mの砂利舗装、支線道路Ⅱ型は全幅員4.0m、有効幅員3.0mの砂利舗装とする。

## 第6節 農用地造成計画

該当なし

## 第7節 洪水調節計画

該当なし

## 第8節 干拓計画

該当なし

## 第9節 農用地整備計画

### 区画の形状

長辺×短辺 (m)	区 画 面 積 (ha)	全 体 面 積 (ha)	割 合 (%)	田 差 (m)	備 考
標準区100×100	1.0以上	19.5	43.4	0.5以下	
標準区100×50	1.0以上	25.1	55.9	2.0以下	
端田区20×10	0.2未満	0.3	0.7	2.0以下	
計		44.9	100.0		

## 第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

## 第4章 工事又は管理の要領

### 第1節 主要工事計画

区画整理工      A=      45.4    ha

### 第2節 工事の施行方法

1. 工事は、原則として請負施工で行う。
2. 工事着手及び完了の予定時期  
令和8年度      着    手  
令和14年度      完了予定

### 第3節 工事完了後の施設の管理

本事業で造成された施設については、青森市が管理する。

## 第5章 換地計画の要領

### 第1節 換地計画樹立の必要性

従前地の区画形状の変更、道水路の改廃・新設及び農用地の集団化による従前地権利の変動等により換地計画樹立の必要がある。

### 第2節 換地計画樹立の基本方針

#### 1. 従前の土地の地積の基準

換地交付の基準とする従前の土地の地積は、国土調査法による地籍調査に基づく登記が完了している土地にあっては、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積（ただし、上記の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合は、その申出のあった地積とする。）とし、これ以外の土地にあっては、事業主体の行う実測による地積とする。

#### 2. 農用地集団化の方法

区分 換地区名	地帯別・グループ別 団地の設定	個 人 別      換 地      の      方      法		
		位 置 の 選 択 方 法	1 戸 当 たり 目 標 団 地 数	区 画 畦 畔 の 取 扱 い
全 工 区	な し	換地は各人の土地が最も密集した位置を中心に土地利用条件等を考慮して定める。	概ね1～2団地	固定畦畔

#### 3. 非農用地換地の方法

区分 換地区名	用 途	非農用地区域の位置の概略	面 積 (㎡)	換地の手法	その他
	原野	概ね従前どおり	2,427	特定用途用地換地	
全工区	雑種地	概ね従前どおり	3,732		

#### 4. 清算の方式

比例地積清算方式

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積

(単位：ha)

区 分 用 途	公 用 公 共 用 地				一 般 国 有 地	合 計
	国 有 地	県 有 地	市 町 村 有 地	計		
道 路	-	-	3.3	3.3	-	3.3
水 路	0.1	-	3.1	3.2	-	3.2
水 道 用 地	-	-	0.3	0.3	-	0.3
河 川	0.1	-	-	0.1	-	0.1
計	0.2	-	6.7	6.9	-	6.9

第6章 費用の概算

事業費：1,529,850 千円

工事関係費：1,457,000 千円

事務的経費：72,850 千円

(但し、事業費は物価の変動等により増減の生ずることもある。)

第7章 効 用

(単位：千円)

区 分 項 目	年総効果(便益)額	年総増加農業所得額	備 考
作 物 生 産 効 果	22,638	8,826	食料の安定供給の確保に関する効果
営農経費節減効果	63,087	70,813	食料の安定供給の確保に関する効果
維持管理費節減効果	6,239	19,538	食料の安定供給の確保に関する効果
耕作放棄防止効果	5	-	農業の持続的発展に関する効果
地 積 確 定 効 果	14	-	農村の振興に関する効果
国産農産物安定供給効果	6,831	-	その他の効果
計	98,814	99,177	令和7年度単価

< 参 考 >

総 費 用 : 1,453,456 千円

総 便 益 額 : 1,776,663 千円

総費用総便益比 :  $1,776,663 \div 1,453,456 = 1.22$

第8章 他の事業との関係

該当なし

第9章 計画概要図

別紙添付図面のとおり



# 令和8年度新規採択希望 経営体育成基盤整備事業

## 青森県 油川地区 位置図

縮尺 1 : 25,000

### 県内位置図



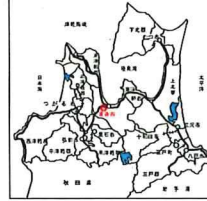
凡 例	
色 別	項 目
	受益地

図面の名称	図面番号
位置図	1
縮 尺	1:25,000
事業名	道川地区経営体育成基盤整備事業
地区名	青森県油川地区ほか
路線名等	
原 西 名	東奥国油川(豊後)第15号
青森県農業科水産事務所	

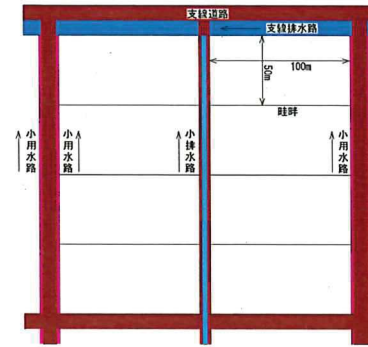


# 油川地区 計画概要図

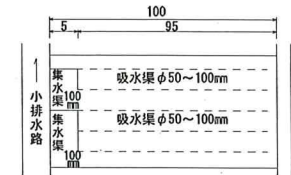
県内位置図



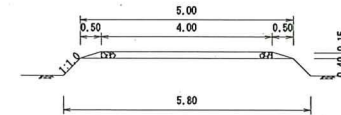
標準区画図



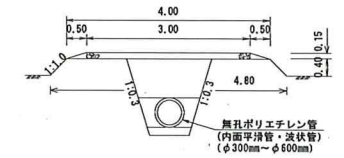
暗渠排水工



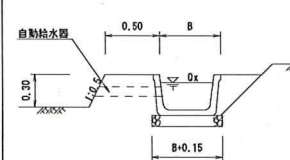
支線道路 (I 型)



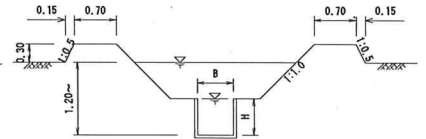
支線道路 (II 型) ・小排水路



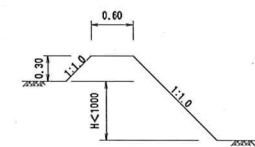
小用水路



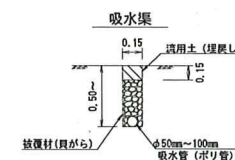
支線排水路



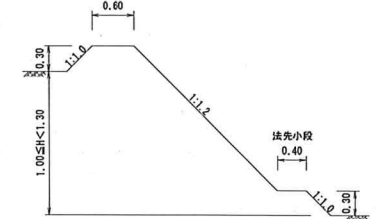
畦畔工 (I 型)



暗渠排水工

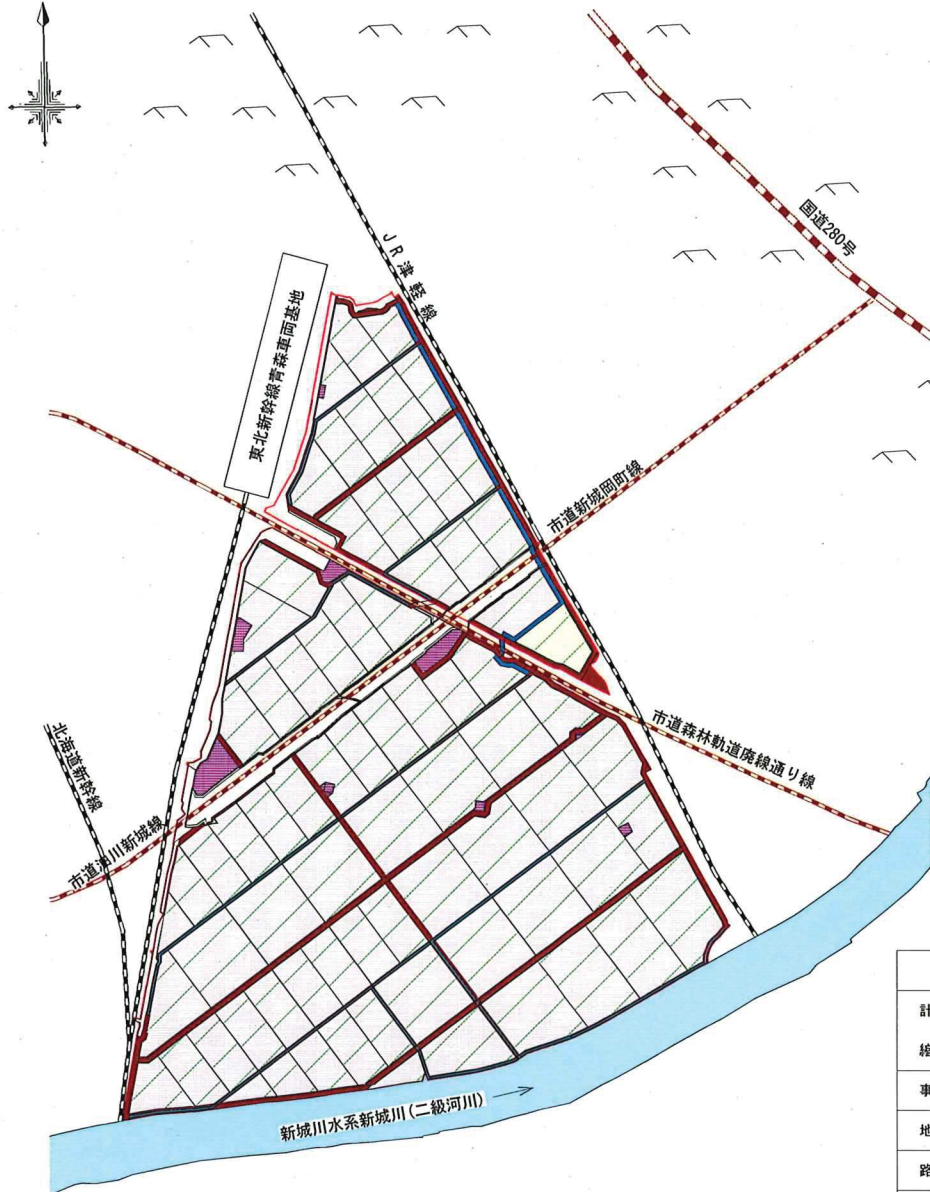


畦畔工 (II 型)



凡 例	
記 号	事 項
集 落	
地 区 界	
国 道	
市 道	
J R 線 路	
河 川	
支 線 道 路	
支 線 用 水 路	
支 線 排 水 路	
小 用 水 路	
小 排 水 路	
水 田	
畑	
雑 種 地	
暗 渠 排 水	

図 面 の 名 称		図面番号
計画概要図		2
縮 尺 S=1:10000		
事 業 名	油川地区 経営体育成基盤整備事業	
地 区 名	青森市油川地区ほか	
路線名等		
業 務 名	東県局農水（整委）第15号	
青森県東青農林水産事務所		



# 予定管理方法等を記載した書面

経営体育成基盤整備事業

県名	:	青森	県
地区名	:	油	川
所在地	:	青森	市
事業主体	:	青森	県

## 県営油川地区経営体育成基盤整備事業によって造成された施設の予定管理方法

### 1. 管 理 者

本事業によって造成される施設は、青森市が管理する。

### 2. 管理すべき施設の種類

○道路工	L =	7,644 m (砂利舗装)
	I 型 L =	4,893 m
	II 型 L =	2,751 m

○用水路工	L =	6,529 m
	支線用水路 L =	821 m
	小用水路 L =	5,708 m

○排水路工	L =	3,998 m
	支線排水路 L =	649 m
	小排水路 L =	3,349 m

### 3. 管理に要する費用の概算及び負担の方法

#### (1) 概算の費用

861千円/年

#### (2) 負担の方法

青森市が負担する。

# 事業費の負担区分の予定及び 地元負担の予定基準を記載した書面

経営体育成基盤整備事業

県名：	青森県
地区名：	油川
所在地：	青森市
事業主体：	青森県

事業費の負担区分の予定及び地元負担の予定基準を記載した書面

1. 事業費の負担区分

区 分		事 業 費	負 担 予 定			
			国	県	市町村	受益者
工 事 費	負担予定率(%)	100	55.0	27.5	10.0	7.5
	負担予定額(千円)	1,457,000	801,350	400,675	145,700	109,275
事務的経費	負担予定率(%)	100	-	100.0	-	-
	負担予定額(千円)	72,850	-	72,850	-	-
合 計	負担予定額(千円)	1,529,850	801,350	473,525	145,700	109,275

2. 地元負担金の負担方法

(1) 市町村負担金の負担方法

市町村負担金は、土地改良法第91条第6項の規定に基づき青森市が負担する。

(2) 受益者負担金の負担方法

受益者負担分については、土地改良法第91条第2項の規定により、青森市が負担し、青森市は同条第3項の規定に基づき、青森市土地改良事業負担金等徴収条例により受益者から徴収する。

# 受益地域を記載した書面

経営体育成基盤整備事業

県	名	:	青	森	県
地	区	名	:	油	川
所	在	地	:	青	森
事	業	主	体	:	青
				森	市
					県



市 町 村	大 字	字	地 域								
青森市	油川	岡田	134-1	134-2	134-3	135	136-1	136-2	138	139	140-1
			140-2	141	142-1	142-2	142-3	142-4	142-5	143-1	144-1
			152-1	177-3	177-14	180-1	180-2	180-4	181	182	183
			184	185-1	185-2	185-3	186	187-1	187-2	187-3	187-4
			188-1	188-2	189-1	189-2	190	191-1	192	193-1	193-2
			194	195-1	195-2	196-1	196-3	197-1	197-2	198	
								字 計	53	筆	
		実法	36-2	37-1	54-1	59-2	59-3	59-4	59-5	60	61
			63-1	64-1	64-2	64-3	64-4	64-5	64-8	64-9	64-10
			65-1	65-2	65-3	65-4	65-6	65-7	66-1	67	68-1
			69-1	69-2	69-3	70	71	72	73	74-1	75-1
			75-2	75-3	75-4	76-1					
									字 計	40	筆
		千刈	1	2-1	2-2	2-4	2-5	2-7	2-8	3	4-1
			4-2	5-1	5-3	6	7	8-1	8-2	8-3	8-4
			8-5	9	10-1	10-2	11	12	13-1	13-3	14-1
			14-3	15-1	15-3	15-5	15-7	15-8	16-1	17-5	17-6
			18-1	18-2	19	22-1	29-1	29-2	29-3	31-1	32-1
			129								
								字 計	46	筆	
		柳川	98-1	103-1	103-8	104-1	106	107-2	108	109	110
			112-1	112-3	120-1	121	122-1	122-2	123-1	123-2	124-1
			125-1	125-2	126	127-1	127-2	128	129-1	129-3	129-4
			129-5	129-10	130-1	130-2	131	132-1	133-1	133-2	133-6
			134-1	134-3	134-4	135-1	135-3	135-7	135-8	136-1	136-3
			136-4	137	138	139-1	139-2	139-3	140	141	142
			143	144-1	144-2	145-1	146-1	146-3	147-1	147-3	148-1
			148-2	148-3	148-4	148-5	149-1	149-3	149-4	150-1	150-2
			157-1	157-3	158	159-3	160-1	161-1	162-1	164	165
			166	167	168-1	168-2	169	170	171	172	175-1
	178-1	186									
							字 計	92	筆		
							大 字 計	231	筆		
	新城	福田	137-1	140-1	141-1	141-2	142-1	142-4	143-1	144-1	144-2
			145	146-1	147-1	147-2	148	149-1	149-7	165-1	168-2
			170	173-2	174	175-1	175-2	176-1	176-2	179-1	180-1
			181-1	181-2	181-3	182-1	182-2	182-3	183	184-1	184-2
			185	190	191	193	194-1	194-2	195-1	195-2	195-3
			196-1	196-2	197-1	197-2	198	199-1	199-2	201	202
			203-1	206-1	206-2	207-1	207-2	207-3	207-4	208-1	208-3
			214	215	216-1	216-2	217	220-1	220-2	221-1	221-2
			222-2	223-1	223-2	223-5	223-6	225-3	229-3	229-11	385
								字 計	81	筆	
	新田	忍	8-3	8-6	8-9	16	16-6	44-1	44-2	44-3	45
									字 計	9	筆
							合 計	321	筆		